

**編集部** 滑稽俳句を始められたきっかけは？

**石 塚** 書道の師である太田史彩先生から、「俳句は日記なのよ」と優しいお声で誘っていただきました。自詠句を「書」に出来たらという思いもあり、あまり難しく考えないで四年前から俳句を始めました。滑稽俳句は、太田先生と同じく、滑稽俳句協会会員の田村米生様にご紹介いただきまして、お仲間に入れていただきました。

**編集部** 滑稽俳句の魅力とは？

**石 塚** 思わず吹き出したり、癒されたりするところです。

**編集部** 俳句における「滑稽」とは？

**石 塚** スパイシーなおかしさですね。

**編集部** 滑稽俳句を続けて良かった事は？

**石 塚** 俳句を考える時間が長くなったことで、必然的に余計な事を考える時間が無くなり、楽天的になったような気がします。

**編集部** 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

**石 塚** まだよく分かりませんが、「ひねり」が不可欠かなと思っています。いつかG難度のようなひねりの効いた句を作ることが目標です。皆様の滑稽俳句を拝読し、精進したいと思います。

#### 【代表句】

山笑ふ会津はいまだ山眠る  
紫陽花やホームの父のとんちんかん  
雨蛙玄関ノブでお出迎え  
炎天下一步を出ざるウオーキング  
初つらら風のそちこち雫飛び